

令和6年度 旭川市新旭川公民館地域フォーラム開催結果



☆公民館地域フォーラムとは

公民館地域フォーラムは、地域の皆様が自由に地域の課題等を話し合い、それを公民館での「学びの活動」を通して、解決や実現に向けて何ができるかを考える集まりです。

☆フォーラムの概要

日 時：令和6年12月6日（金曜日）14：00～15：00

場 所：新旭川公民館 1階 講座室

内 容：新旭川公民館の事業活動及び施設利用状況や利用者アンケート等の説明
及び意見交換

参加者数：3名（地域団体関係者、公民館事業参加者）

☆進め方

第1部：公民館からの説明

新旭川公民館長が同館の事業活動（プロジェクター使用）、利用状況、登録団体の推移、利用者アンケートの結果について説明しました。

第2部：意見交換

今後の事業展開を含め公民館運営について意見交換を行いました。

～事業活動実績、利用状況等について～

- ・特に意見等はありませんでした。

～今後の事業展開等について～

- ・興味ある内容といっても難しいが、公民館で何をやっているかをPRすることが大切である。

- ・広報誌は興味のあることしか見ないし、ホームページやフェイスブックは高齢者には効果が薄いように思え、年代が限られると思う。
- ・高齢者をターゲットにして健康づくりに関する内容を社会福祉協議会や地域の包括センターとともに考えてみるのも良いと思う。
- ・近年の災害発生状況から防災に関するもの、また陶芸などのものづくりや体験できるような内容は興味を持ってもらえると思う。
- ・百寿大学文化祭の展示がなくなり、観てもらえることで自らの取組に反省したり、満足したりできたが、挑戦意欲が湧くものがなくなった。
- ・公民館独自の作品展示会を開催して活動内容を知ってもらえる機会があるとやりがいや自信にもつながる。
- ・展示会の期間に喫茶コーナーや談話スペースを作れば人とのつながりができる。

～運営全般について～

- ・70歳を超えていても働いている人が多くなり、高齢者の学ぶ機会を考えても以前とは環境が変わり参加したくてもできない状況にある。
- ・シニア大学開催の一般講座に参加したが、その時は、在学生在が2名ほどしかいなく、どこも人数が減ってきていることを実感した。
- ・人とのつながり、アットホームな雰囲気の中で学ぶことができるという少数であることのメリットもあり、参加人数が多ければ良いというものではないとも考える。
- ・公民館事業に参加するきっかけは、友人からの声かけであり、参加したことで仲間づくりにもつながったので、声かけは大事なPR方法と考える。
- ・コロナ以前は、自分の地域の公民館事業にかかわらず、友人や知人の声かけで他の地域にある公民館事業に参加するといった状況もあった。
- ・コロナが消えたわけではない。新聞の減ったり増えたりの記事を見ると全く気にしなくていいという状況ではない。
- ・事業に携わる講師の高齢化で継続できない事業も出てきていると聞いており、仲間同士で教え合うことも大事になってくると思う。
- ・地域活動の面でも役員が高齢化する中で後継者が不足している。
- ・公民館事業に携わっているスタッフが昔から変わらず、次世代へ引き継げるのか、いつまで事業に関わっていけるのかが課題であると考えている。

今後の事業展開や運営全般についての課題等、貴重な御意見を伺うことができました。誠にありがとうございました。

この度の御意見や御提言を踏まえ、より充実した事業運営に努めてまいります。また、施設を御利用いただくにあたり、支障を来すことのないよう環境の整備にも取り組んでまいりますので、御支援と御協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。